



# 平成29年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成28年11月9日

上場取引所 東

上場会社名 ユニチカ株式会社

コード番号 3103 URL <http://www.unitika.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 注連 浩行

問合せ先責任者 (役職名) 経理部長

(氏名) 大西 正哲

TEL 06-6281-5721

四半期報告書提出予定日 平成28年11月11日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (証券アナリスト・機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成29年3月期第2四半期の連結業績(平成28年4月1日～平成28年9月30日)

### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第2四半期	62,571	△14.6	6,273	41.8	4,133	35.5	3,585	108.3
28年3月期第2四半期	73,254	△5.6	4,423	41.6	3,050	43.9	1,721	—

(注) 包括利益 29年3月期第2四半期 3,261百万円 (83.1%) 28年3月期第2四半期 1,781百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年3月期第2四半期	5.35	2.76
28年3月期第2四半期	2.12	1.35

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
29年3月期第2四半期	204,132	40,200	18.1
28年3月期	219,957	37,936	15.7

(参考) 自己資本 29年3月期第2四半期 36,944百万円 28年3月期 34,598百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
29年3月期	—	0.00	—	—	—
29年3月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

(注) 上記「配当の状況」は、普通株式に係る配当の状況です。当社が発行する普通株式と権利関係の異なる種類株式(非上場)の配当の状況については、後述の「種類株式の配当の状況」をご覧ください。

## 3. 平成29年3月期の連結業績予想(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	134,500	△8.2	11,700	12.0	9,000	31.9	7,000	1.0	10.41

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 有  
 新規 一社 (社名) ユニチカリアルティ株式会社、ユニモア株式会社、除外 2社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
 ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
 ② ①以外の会計方針の変更 : 無  
 ③ 会計上の見積りの変更 : 無  
 ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	29年3月期2Q	577,523,433 株	28年3月期	577,523,433 株
② 期末自己株式数	29年3月期2Q	809,506 株	28年3月期	805,686 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	29年3月期2Q	576,716,410 株	28年3月期2Q	576,726,075 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## 種類株式の配当の状況

普通株式と権利関係の異なる種類株式に係る1株当たり配当金の内訳は以下のとおりです。

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
A種種類株式	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年3月期	—	0.00	—	12,000.00	12,000.00
29年3月期	—	0.00			
29年3月期(予想)			—	12,000.00	12,000.00
B種種類株式	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年3月期	—	0.00	—	23,740.00	23,740.00
29年3月期	—	0.00			
29年3月期(予想)			—	23,740.00	23,740.00
C種種類株式	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年3月期	—	0.00	—	60,000.00	60,000.00
29年3月期	—	0.00			
29年3月期(予想)			—	60,000.00	60,000.00

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
(4) 追加情報	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	10
4. 補足資料	11

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業収益及び雇用・所得環境の改善を背景に、緩やかな景気回復の動きが見られたものの、個人消費の低迷、株価の下落や為替相場の変動などから、力強さに欠ける状況が続きました。海外では、中国を始めとするアジア経済や資源国等の経済の成長鈍化や英国のEU離脱問題による経済の混乱が広がるなど、先行き不透明な状況で推移いたしました。

このような状況の下、当社グループは、平成26年5月からスタートした中期経営計画に掲げる成長戦略の早期実現に向け、高分子事業を中心とする機能素材メーカーとしての基盤強化や収益改善のための各施策の実行に努めてまいりました。この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は62,571百万円（前年同四半期比14.6%減）、営業利益は6,273百万円（同41.8%増）、経常利益は4,133百万円（同35.5%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は3,585百万円（同108.3%増）となりました。

なお、中間配当につきましては、引き続き見送ることとさせていただきますので、何とぞご了承賜りますようお願い申し上げます。

セグメント別の状況は次のとおりです。

#### 【高分子事業】

フィルム事業では、包装分野は、国内では猛暑の影響により需要が増えたため、前期に引き続き好調に推移し、新バリアナイロンフィルム「エンブレムHG」など高付加価値品の販売拡大も収益に寄与しました。海外でも、アジア市況の復調とインドネシア子会社のP. T. EMBLEM ASIA（エンブレムアジア）の生産能力増強に伴い販売数量が増加しました。工業分野は、情報端末機器用途など電気・電子機器分野で需要が減少しましたが、耐熱ポリアミドフィルム「ユニアミド」などの高付加価値品の販売が拡大したことにより収益は増加しました。この結果、事業全体で増収増益となりました。

樹脂事業では、ナイロン樹脂は、販売数量が増加したものの、販売価格の見直しにより売上は減少しました。熱可塑性飽和共重合ポリエステル樹脂「エリーテル」は、海外向け太陽電池用途などで好調に推移しました。当社独自のポリアリレート樹脂「Uポリマー」は、事務機器用途で低調でしたが、情報端末機器用途で好調に推移しました。この結果、事業全体で減収増益となりました。

不織布事業では、ポリエステルスパンボンドは、農業用途等で低調に推移しましたが、インテリアや建築材料用途等で販売数量を伸ばし、収益は増加しました。海外では、タイ子会社のTHAI UNITIKA SPUNBOND CO., LTD.（タスコ）は、タイ国内の景気低迷の中、主にカーペット用途での海外展開の増加、コストダウン等により、収益が増加しました。コットンスパンレースは、国内では猛暑による制汗シートの需要拡大など生活資材用途で好調に推移し、輸出数量も増加しました。この結果、事業全体で減収増益となりました。

高分子事業全体では、原油価格の持ち直しの動きが緩やかであったため、原燃料価格が低位で推移し、収益に貢献しました。

以上の結果、高分子事業の売上高は27,551百万円（前年同四半期比1.8%減）、営業利益は5,214百万円（同38.6%増）となりました。

#### 【機能材事業】

ガラス繊維事業では、産業資材分野は、建築用途の販売が堅調に推移しました。電子材料分野のICクロスは、情報端末機器用途での需要が伸びず、低調に推移しました。ガラスビーズ事業では、ロードマーキング用途は堅調に推移しました。工業用途や反射材用途では売上が減少しましたが、商品構成の改善や燃料価格の下落により、全体として収益は増加しました。また、活性炭繊維事業では、主力の浄水器用途で需要が伸び悩みましたが、VOC除去用途や工業用フィルター用途などで堅調に推移しました。

以上の結果、機能材事業の売上高は5,913百万円（同5.5%増）、営業利益は559百万円（同19.3%減）となりました。

## 【繊維事業】

産業繊維事業では、ポリエステル高強力糸は、複合繊維などの高付加価値品や建築資材用途を中心に堅調に推移し、収益は増加しました。ポリエステル短繊維は、前期までに実施した構造改革による事業縮小に伴い売上が大きく減少しましたが、計画通りの収益を確保しました。

衣料繊維事業では、ユニフォーム分野は、調達コストの低減により採算が改善し、レディス分野は、二次製品の拡販による増収で、それぞれ収益は増加しました。一方で、スポーツや寝装、インナー用途での素材販売及びデニム輸出は振るわず、事業全体の売上は減少しました。

以上の結果、繊維事業の売上高は27,402百万円（同16.4%減）、営業利益は806百万円（同40.5%増）となりました。

## 【その他】

その他の事業につきましては、事業ポートフォリオ改革に伴う子会社の株式譲渡・清算、事業譲渡の影響などにより、その他の売上高は1,703百万円（同75.0%減）、営業損失は316百万円（前年同四半期は631百万円の損失）となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

総資産は、前連結会計年度末に比べ15,824百万円減少し、204,132百万円となりました。これは、主として現金及び預金が減少したことによります。負債は、前連結会計年度末に比べ18,087百万円減少し、163,932百万円となりました。これは、主として長期借入金が減少したことによります。純資産は、前連結会計年度末に比べ2,263百万円増加し、40,200百万円となりました。これは、主として親会社株主に帰属する四半期純利益の計上により利益剰余金が増加したことによります。

また、キャッシュ・フローの状況については、次のとおりです。

## (営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間の営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前四半期純利益に減価償却費などの非資金項目を加えたキャッシュ・イン・フローなどにより、10,154百万円の資金の増加（前年同四半期比324.8%増）となりました。

## (投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間の投資活動によるキャッシュ・フローは、設備投資に伴う支出などにより、3,524百万円の資金の減少（前年同四半期は784百万円の資金の減少）となりました。

## (財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間の財務活動によるキャッシュ・フローは、借入金の返済などにより、16,348百万円の資金の減少（前年同四半期は1,716百万円の資金の減少）となりました。

以上の結果、現金及び現金同等物の期末残高は、前連結会計年度末に比べ10,247百万円減少し、31,776百万円となりました。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成28年5月13日に公表しました通期の連結業績予想の売上高につきましては、当第2四半期連結累計期間の実績に基づき繊維事業を中心に見直しを行い修正しております。

なお、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益につきましては、前回発表予想から修正はございません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

第1四半期連結会計期間において、ユニチカリアルティ株式会社、ユニモア株式会社の2社は、当社を存続会社とする吸収合併により消滅したため、連結の範囲から除外しております。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

(4) 追加情報

(繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針の適用)

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日)を第1四半期連結会計期間から適用しております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成28年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	42,101	31,897
受取手形及び売掛金	35,811	31,653
たな卸資産	27,566	26,050
その他	4,228	4,423
貸倒引当金	△106	△93
流動資産合計	109,601	93,931
固定資産		
有形固定資産		
機械装置及び運搬具(純額)	22,068	21,075
土地	66,869	66,795
その他(純額)	15,230	15,683
有形固定資産合計	104,168	103,553
無形固定資産		
その他	1,714	2,003
無形固定資産合計	1,714	2,003
投資その他の資産		
その他	4,505	4,674
貸倒引当金	△32	△30
投資その他の資産合計	4,473	4,644
固定資産合計	110,356	110,201
資産合計	219,957	204,132

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成28年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	15,322	14,098
短期借入金	1,827	1,774
1年内返済予定の長期借入金	363	313
未払法人税等	215	633
賞与引当金	1,256	1,249
製品改修引当金	2,630	2,212
事業構造改善引当金	989	655
その他	9,298	8,270
流動負債合計	31,904	29,207
固定負債		
長期借入金	124,142	108,938
役員退職慰労引当金	7	4
退職給付に係る負債	11,513	11,569
その他	14,452	14,213
固定負債合計	150,116	134,725
負債合計	182,020	163,932
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	100	100
資本剰余金	28,401	28,401
利益剰余金	5,708	8,297
自己株式	△46	△46
株主資本合計	34,164	36,752
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	433	467
繰延ヘッジ損益	△203	△116
土地再評価差額金	6,474	6,433
為替換算調整勘定	△2,662	△3,170
退職給付に係る調整累計額	△3,608	△3,422
その他の包括利益累計額合計	434	191
非支配株主持分	3,338	3,255
純資産合計	37,936	40,200
負債純資産合計	219,957	204,132

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)
売上高	73,254	62,571
売上原価	58,264	46,719
売上総利益	14,989	15,851
販売費及び一般管理費	10,566	9,578
営業利益	4,423	6,273
営業外収益		
受取利息	35	35
受取配当金	45	50
持分法による投資利益	5	7
受取賃貸料	159	140
その他	264	268
営業外収益合計	509	502
営業外費用		
支払利息	1,200	1,024
為替差損	235	1,276
その他	446	341
営業外費用合計	1,882	2,643
経常利益	3,050	4,133
特別利益		
固定資産売却益	128	192
関係会社株式売却益	375	—
その他	43	—
特別利益合計	546	192
特別損失		
固定資産処分損	251	215
事業構造改善費用	525	102
その他	85	9
特別損失合計	862	328
税金等調整前四半期純利益	2,735	3,996
法人税、住民税及び事業税	68	474
法人税等調整額	931	△108
法人税等合計	1,000	366
四半期純利益	1,734	3,630
非支配株主に帰属する四半期純利益	13	44
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,721	3,585

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年9月30日)
四半期純利益	1,734	3,630
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	58	33
繰延ヘッジ損益	21	88
土地再評価差額金	△66	△41
為替換算調整勘定	△136	△636
退職給付に係る調整額	169	186
その他の包括利益合計	46	△369
四半期包括利益	1,781	3,261
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,755	3,343
非支配株主に係る四半期包括利益	26	△82

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	2,735	3,996
減価償却費	2,344	2,183
事業構造改善費用	525	102
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△136	△15
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	△649	308
事業構造改善引当金の増減額 (△は減少)	△407	△239
製品改修引当金の増減額 (△は減少)	△630	△417
その他の引当金の増減額 (△は減少)	△137	△7
支払利息	1,200	1,024
固定資産処分損益 (△は益)	251	215
固定資産売却損益 (△は益)	△128	△192
関係会社株式売却損益 (△は益)	△375	—
売上債権の増減額 (△は増加)	2,477	3,864
たな卸資産の増減額 (△は増加)	2,847	1,294
仕入債務の増減額 (△は減少)	△4,316	△878
その他	△1,875	△31
小計	3,725	11,209
利息及び配当金の受取額	81	85
利息の支払額	△1,210	△1,027
法人税等の支払額	△206	△112
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,390	10,154
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の増減額 (△は増加)	6	△46
投資有価証券の取得による支出	△11	△5
投資有価証券の売却による収入	17	15
有形固定資産の取得による支出	△3,122	△3,301
有形固定資産の売却による収入	2,105	256
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の売却による収入	129	—
その他	91	△442
投資活動によるキャッシュ・フロー	△784	△3,524
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	111	△81
長期借入金の返済による支出	△1,011	△15,162
配当金の支払額	△666	△997
その他	△149	△106
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,716	△16,348
現金及び現金同等物に係る換算差額	△200	△529
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△310	△10,247
現金及び現金同等物の期首残高	31,708	42,023
現金及び現金同等物の四半期末残高	31,397	31,776

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

セグメント情報

I 前第2四半期連結累計期間(自平成27年4月1日至平成27年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	高分子 事業	機能材 事業	繊維事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	28,067	5,607	32,774	66,448	6,805	73,254	—	73,254
セグメント間の内部売上 高又は振替高	5,478	461	404	6,344	560	6,904	△6,904	—
計	33,546	6,068	33,178	72,793	7,365	80,158	△6,904	73,254
セグメント利益又は損失 (△)	3,763	694	573	5,030	△631	4,399	24	4,423

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、環境事業、不動産関連事業等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額は、セグメント間取引消去によるものです。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成28年4月1日至平成28年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	高分子 事業	機能材 事業	繊維事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	27,551	5,913	27,402	60,867	1,703	62,571	—	62,571
セグメント間の内部売上 高又は振替高	4,406	444	460	5,312	579	5,891	△5,891	—
計	31,958	6,358	27,863	66,180	2,282	68,462	△5,891	62,571
セグメント利益又は損失 (△)	5,214	559	806	6,580	△316	6,263	9	6,273

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、各種プラントの設計施工及び整備保全等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額は、セグメント間取引消去によるものです。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 4. 補足資料

## ①業績及び29年3月期業績予想(連結)

(百万円)

			売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益
連結	27/3	年間	159,126	8,916	7,680	△ 27,033
	28/3	第2Q	73,254	4,423	3,050	1,721
		年間	146,474	10,450	6,821	6,933
	29/3	第2Q	62,571	6,273	4,133	3,585
		年間(予想)	134,500	11,700	9,000	7,000
前年比較		第2Q	△ 10,682	1,849	1,082	1,864
		年間	△ 11,974	1,249	2,178	66

## ②セグメント情報(連結)

(百万円)

			高分子	機能材	繊維	その他	調整額	連結
前年実績	27/9 (実績)	外部売上高	28,067	5,607	32,774	6,805	—	73,254
		構成比(%)	38.3	7.7	44.7	9.3	—	100.0
		営業利益	3,763	694	573	△ 631	24	4,423
		構成比(%)	85.1	15.7	13.0	△ 14.3	0.5	100.0
当期実績	28/9 (実績)	外部売上高	27,551	5,913	27,402	1,703	—	62,571
		構成比(%)	44.0	9.5	43.8	2.7	—	100.0
		営業利益	5,214	559	806	△ 316	9	6,273
		構成比(%)	83.1	8.9	12.8	△ 5.0	0.1	100.0
前年同期比較		外部売上高	△ 515	306	△ 5,371	△ 5,101	—	△ 10,682
		増減率(%)	△ 1.8	5.5	△ 16.4	△ 75.0	—	△ 14.6
		営業利益	1,451	△ 134	232	314	△ 14	1,849
		増減率(%)	38.6	△ 19.3	40.5	—	△ 60.2	41.8

## ③設備投資実施額・減価償却費(有形固定資産)・研究開発費・有利子負債・金融収支・正従業員数(連結)

(百万円、人)

		設備投資 実施額	減価 償却費	研究 開発費	有利子 負債(期末)	金融 収支	正従業員数 (人)
27/3	年間	4,808	4,715	3,940	133,903	△ 2,446	4,458
27/9	第2Q	3,047	2,198	1,654	132,224	△ 1,118	4,023
28/3	年間	5,968	4,555	3,203	126,334	△ 2,212	3,906
28/9	第2Q	2,827	2,065	1,527	111,026	△ 938	3,726

## ④キャッシュ・フロー(連結)

(百万円)

		営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物の 期末残高
27/3	年間	6,080	△ 145	5,870	31,708
27/9	第2Q	2,390	△ 784	△ 1,716	31,397
28/3	年間	11,661	4,124	△ 5,010	42,023
28/9	第2Q	10,154	△ 3,524	△ 16,348	31,776